



## 安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	19-8823-7	版	12.00
発行日	2024/06/11	前発行日	2024/01/31

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

EC-1368NT

#### 3M スtockナンバー

JS-3000-4614-6	JS-3000-4615-3	JS-3000-4636-9
7010719981	7010719980	7000091361

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

コンタクト型接着剤

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

引火性液体： 区分2  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分2A  
皮膚感作性： 区分1  
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分3  
特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分2  
水生環境有害性 短期（急性）： 区分2  
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分2

#### GHSラベル要素

## 注意喚起語

危険

## シンボル

炎 感嘆符 健康有害性 環境

## ピクトグラム



## 危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気
H319	強い眼刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H336	眠気又はめまいのおそれ
H373	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 神経系。
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

## 注意書き

## 安全対策

P210A	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P240B	容器を接地しアースをとること。
P242A	火花を発生させない工具を使用すること。
P243A	静電気放電に対する措置を講ずること。
P233	容器を密閉しておくこと。
P241	防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

## 応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。
P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

P362 + P364	と。
P314	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P370 + P378G	気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
P391	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。
	漏出物を回収すること。

**保管**

P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405	施錠して保管すること。

**廃棄**

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

**その他の有害性**

製品の粘度により、誤えん有害性の区分は適用しない。

**3. 組成及び成分情報**

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
2-メチルペンタン	107-83-5	17
シクロヘキサン	110-82-7	17
アセトン	67-64-1	16
ポリクロロブレン	9010-98-4	7 - 13
メチルエチルケトン	78-93-3	11
3-メチルペンタン	96-14-0	10
アルキルフェノール樹脂	営業秘密	1 - 5
フェノール・ホルムアルデヒド樹脂	営業秘密	1 - 5
酸化マグネシウム	1309-48-4	4.8
2,3-ジメチルブタン	79-29-8	2.1
ヘキサン	110-54-3	1.2
スチレン化フェノール	61788-44-1	< 1
酸化亜鉛	1314-13-2	0.60
ロジン	8050-09-7	0.48
p-Tert-ブチルフェノール	98-54-4	0.26
ネオヘキサン	75-83-2	0.17
キシレン	1330-20-7	0.10
エチルベンゼン	100-41-4	0.10

**4. 応急措置****応急措置****吸入した場合**

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

**皮膚に付着した場合**

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

**眼に入った場合**

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

**飲み込んだ場合**

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

**予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状**

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。中枢神経の抑制（頭痛、目眩感、眠気、共調不能、吐き気、言語障害、目眩及び意識喪失）。長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

**応急措置を要する者の保護に必要な注意事項**

適用しない。

## 5. 火災時の措置

**消火剤**

火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

**使ってはならない消火剤**

情報なし。

**特有の危険有害性**

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

**有害な分解物または副生成物****物質**

炭化水素類  
一酸化炭素  
二酸化炭素  
刺激性蒸気あるいはガス

**条件**

燃焼中  
燃焼中  
燃焼中  
燃焼中

**消火作業者の保護**

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

区域から退避させること。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。火花を発生させない工具を使用すること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性が

ある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 漏洩箇所を泡消火薬剤で覆う。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 金属製の容器に収納する。 有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 熱/火花/裸火/高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 酸化剤との接触を避ける(塩素、クロム酸等)。 静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。 指定された個人保護具を使用する。 着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電气的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。 輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。

### 保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 容器を密閉しておくこと。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
エチルベンゼン	100-41-4	ACGIH	TWA : 20 ppm	A3: 動物発がん性物質, 耳毒性物質
エチルベンゼン	100-41-4	ISHL	TLV (8時間) : 20 ppm	
エチルベンゼン	100-41-4	JSOH OELs	TWA(8時間):87 mg/m <sup>3</sup> (20 ppm)	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。(皮膚)
2-メチルペンタン	107-83-5	ACGIH	TWA : 500ppm、STEL : 1000ppm	

ヘキサン、すべての異性体	107-83-5	JSOH OELs	TWA (8時間) : 140 mg/m <sup>3</sup> (40 ppm)	皮膚
ヘキサン	110-54-3	ACGIH	TWA : 50ppm	皮膚吸収の危険性。
ヘキサン	110-54-3	ISHL	TLV (8時間) : 40 ppm	
ヘキサン、すべての異性体	110-54-3	JSOH OELs	TWA (8時間) : 140 mg/m <sup>3</sup> (40 ppm)	皮膚
シクロヘキサン	110-82-7	ACGIH	TWA : 100 ppm	
シクロヘキサン	110-82-7	ISHL(濃度基準値)	TWA(8時間) : 100 ppm	25°C1気圧空气中
シクロヘキサン	110-82-7	JSOH OELs	TWA (8時間) : 520 mg/m <sup>3</sup> (150 ppm)	
不活性あるいは有害なダスト	1309-48-4	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間) : 4mg/m <sup>3</sup> ; TWA(吸入性粉じん)(8時間) : 1mg/m <sup>3</sup>	
酸化マグネシウム	1309-48-4	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 10 mg/m <sup>3</sup>	A4 : ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
酸化亜鉛	1314-13-2	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 2 mg/m <sup>3</sup> 、STEL (吸入性分画) : 10mg/m <sup>3</sup>	
酸化亜鉛	1314-13-2	ISHL(濃度基準値)	TWA (8時間) : 0.1 mg/m <sup>3</sup>	25°C1気圧空气中
酸化亜鉛	1314-13-2	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間) : 4mg/m <sup>3</sup> ; TWA(吸入性粉じん)(8時間) : 1mg/m <sup>3</sup>	
キシレン	1330-20-7	ACGIH	TWA : 20 ppm	A4 : ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
キシレン	1330-20-7	ISHL	TLV (8時間) : 50 ppm	
キシレン	1330-20-7	JSOH OELs	TWA (8時間) : 217 mg/m <sup>3</sup> (50 ppm)	
アセトン	67-64-1	ACGIH	TWA:250 ppm;STEL:500 ppm	A4 : ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
アセトン	67-64-1	ISHL	TLV (8時間) : 500 ppm	
アセトン	67-64-1	JSOH OELs	TWA(8 hours) : 475 mg/m <sup>3</sup> (200 ppm)	
ヘキサン、すべての異性体	75-83-2	JSOH OELs	TWA (8時間) : 140 mg/m <sup>3</sup> (40 ppm)	皮膚
ネオヘキサン	75-83-2	ACGIH	TWA : 500ppm、STEL : 1000ppm	
メチルエチルケトン	78-93-3	ACGIH	TWA : 200ppm、STEL : 300ppm	
メチルエチルケトン	78-93-3	ISHL	TLV (8時間) : 200 ppm	
メチルエチルケトン	78-93-3	JSOH OELs	TWA (8時間) : 590 mg/m <sup>3</sup> (200 ppm)	
2,3-ジメチルブタン	79-29-8	ACGIH	TWA : 500ppm、STEL : 1000ppm	

ヘキサン、すべての異性体	79-29-8	JSOH OELs	TWA（8時間）：140 mg/m <sup>3</sup> （40 ppm）	皮膚
ロジン	8050-09-7	ACGIH	TWA（レジンとして、吸入分画）：0.001mg/m <sup>3</sup>	呼吸器/皮膚感作性
ロジン	8050-09-7	JSOH OELs	限界値は未設定	呼吸器感作性物質及び皮膚感作性物質として知られている。
3-メチルペンタン	96-14-0	ACGIH	TWA：500ppm、STEL： 1000ppm	
ヘキサン、すべての異性体	96-14-0	JSOH OELs	TWA（8時間）：140 mg/m <sup>3</sup> （40 ppm）	皮膚

ACGIH：American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA：American Industrial Hygiene Association

ISHL：労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL（濃度基準値）：労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs：日本産業衛生学会許容濃度

TWA：時間加重平均値

STEL：短時間ばく露限界値

ppm：百万分率

mg/m<sup>3</sup>：ミリグラム/立方メートル

CEIL：天井値

## ばく露防止策

### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。 防爆換気装置を使用する。

## 保護具

### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。 注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。 ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ポリマーラミネート製エプロン

### 呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	黄色
臭い	強い溶剤臭。
臭いの閾値	適用しない
pH	適用しない
融点・凝固点	適用しない
沸点, 初留点及び沸騰範囲	56.5 °C
引火点	-30 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。
引火性	引火性液体: 区分 2
燃焼点 (下限)	1.2 %
燃焼点 (上限)	12.8 %
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	0.81 g/ml
比重	適用しない
溶解度	無視できるレベル。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	75 重量%
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。
モル重量	データはない。

### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	適用しない
------	-------

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

### 化学的安定性

安定。



**危険有害反応の可能性**

有害な重合反応は起こらない。

**避けるべき条件**

熱。

火花及び／ないし炎

沸点以上の温度

**混触危険物質**

知見はない。

**危険有害な分解物****物質****条件**

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

**毒性学的影響に関する情報****ばく露による症状**

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

**吸入した場合**

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

**皮膚に付着した場合**

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

**眼に入った場合**

眼への激しい刺激：発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

**飲み込んだ場合**

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

**その他健康影響情報****特定標的臓器毒性、単回ばく露**

中枢神経機能の抑制： 頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。

#### 長時間又は反復暴露した場合：

末梢神経障害： 手足の痛み又はしびれ、協調不能、手足の虚弱、震え、筋萎縮などの症状。

#### 生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

#### 発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

#### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合になります。

#### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
2-メチルペンタン	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
2-メチルペンタン	吸入－蒸気		LC50 推定値 > 50 mg/l
2-メチルペンタン	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
アセトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,688 mg/kg
アセトン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 76 mg/l
アセトン	経口摂取	ラット	LD50 5,800 mg/kg
シクロヘキサン	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
シクロヘキサン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 > 32.9 mg/l
シクロヘキサン	経口摂取	ラット	LD50 6,200 mg/kg
3-メチルペンタン	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
3-メチルペンタン	吸入－蒸気		LC50 推定値 > 50 mg/l
3-メチルペンタン	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
メチルエチルケトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 8,050 mg/kg
メチルエチルケトン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 34.5 mg/l
メチルエチルケトン	経口摂取	ラット	LD50 2,737 mg/kg
ポリクロロブレン	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ポリクロロブレン	経口摂取	ラット	LD50 > 20,000 mg/kg
酸化マグネシウム	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
酸化マグネシウム	経口摂取	ラット	LD50 3,870 mg/kg
フェノール・ホルムアルデヒド樹脂	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
フェノール・ホルムアルデヒド樹脂	経口摂取	ラット	LD50 5,660 mg/kg
2,3-ジメチルブタン	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg

2,3-ジメチルブタン	吸入-蒸気		LC50 推定値 > 50 mg/l
2,3-ジメチルブタン	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ヘキサン	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ヘキサン	吸入-蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 170 mg/l
ヘキサン	経口摂取	ラット	LD50 > 28,700 mg/kg
酸化亜鉛	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
酸化亜鉛	吸入-粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 5.7 mg/l
酸化亜鉛	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ロジン	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,500 mg/kg
ロジン	経口摂取	ラット	LD50 7,600 mg/kg
p-Tert-ブチルフェノール	皮膚	ウサギ	LD50 2,318 mg/kg
p-Tert-ブチルフェノール	吸入-粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 5.6 mg/l
p-Tert-ブチルフェノール	経口摂取	ラット	LD50 4,000 mg/kg
スチレン化フェノール	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
スチレン化フェノール	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
ネオヘキサン	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ネオヘキサン	吸入-蒸気		LC50 推定値 > 50 mg/l
ネオヘキサン	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
エチルベンゼン	皮膚	ウサギ	LD50 15,433 mg/kg
エチルベンゼン	吸入-蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 17.4 mg/l
エチルベンゼン	経口摂取	ラット	LD50 4,769 mg/kg
キシレン	皮膚	ウサギ	LD50 > 4,200 mg/kg
キシレン	吸入-蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 29 mg/l
キシレン	経口摂取	ラット	LD50 3,523 mg/kg

ATE=推定急性毒性

## 皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
2-メチルペンタン	専門家による判断	軽度の刺激
アセトン	マウス	わずかな刺激
シクロヘキサン	ウサギ	軽度の刺激
3-メチルペンタン	専門家による判断	軽度の刺激
メチルエチルケトン	ウサギ	わずかな刺激
ポリクロロブレン	ヒト	刺激性なし
酸化マグネシウム	専門家による判断	刺激性なし
2,3-ジメチルブタン	専門家による判断	軽度の刺激
ヘキサン	ヒト及び動物	軽度の刺激
酸化亜鉛	ヒト及び動物	刺激性なし
ロジン	ウサギ	刺激性なし
p-Tert-ブチルフェノール	ウサギ	刺激物
スチレン化フェノール	ウサギ	刺激性なし

ネオヘキサン	専門家による判断	軽度の刺激
エチルベンゼン	ウサギ	軽度の刺激
キシレン	ウサギ	軽度の刺激

## 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
2-メチルペンタン	専門家による判断	中程度の刺激
アセトン	ウサギ	激しい刺激
シクロヘキサン	ウサギ	軽度の刺激
3-メチルペンタン	専門家による判断	中程度の刺激
メチルエチルケトン	ウサギ	激しい刺激
ポリクロロプレレン	専門家による判断	刺激性なし
2,3-ジメチルブタン	専門家による判断	中程度の刺激
ヘキサン	ウサギ	軽度の刺激
酸化亜鉛	ウサギ	軽度の刺激
ロジン	ウサギ	軽度の刺激
p-Tert-ブチルフェノール	ウサギ	腐食性
スチレン化フェノール	ウサギ	軽度の刺激
ネオヘキサン	専門家による判断	中程度の刺激
エチルベンゼン	ウサギ	中程度の刺激
キシレン	ウサギ	軽度の刺激

## 呼吸器感作性または皮膚感作性

## 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
フェノール・ホルムアルデヒド樹脂	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。
ヘキサン	ヒト	区分に該当しない。
酸化亜鉛	モルモット	区分に該当しない。
ロジン	モルモット	感作性あり
p-Tert-ブチルフェノール	ヒト及び動物	区分に該当しない。
スチレン化フェノール	マウス	感作性あり
エチルベンゼン	ヒト	区分に該当しない。

## 呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ロジン	ヒト	区分に該当しない。

## 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
アセトン	In vivo	変異原性なし
アセトン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

シクロヘキサン	In vitro	変異原性なし
シクロヘキサン	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
メチルエチルケトン	In vitro	変異原性なし
酸化マグネシウム	In vitro	変異原性なし
ヘキサン	In vitro	変異原性なし
ヘキサン	In vivo	変異原性なし
酸化亜鉛	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化亜鉛	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
p-Tert-ブチルフェノール	In vitro	変異原性なし
エチルベンゼン	In vivo	変異原性なし
エチルベンゼン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
キシレン	In vitro	変異原性なし
キシレン	In vivo	変異原性なし

## 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
アセトン	特段の規定はない。	多種類の動物種	発がん性なし
メチルエチルケトン	吸入した場合	ヒト	発がん性なし
酸化マグネシウム	特段の規定はない。	ヒト及び動物	陽性データはあるが、分類には不十分。
ヘキサン	皮膚	マウス	発がん性なし
ヘキサン	吸入した場合	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
p-Tert-ブチルフェノール	経口摂取	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。
エチルベンゼン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性
キシレン	皮膚	ラット	発がん性なし
キシレン	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
キシレン	吸入した場合	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。

## 生殖毒性

## 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アセトン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,700 mg/kg/日	13 週
アセトン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5.2 mg/l	器官発生期
シクロヘキサン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 24 mg/l	2 世代
シクロヘキサン	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 24 mg/l	2 世代
シクロヘキサン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 6.9 mg/l	2 世代
メチルエチルケトン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	LOAEL 8.8 mg/l	妊娠期間中
ヘキサン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 2,200 mg/kg/日	器官発生期

ヘキサン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.7 mg/l	妊娠期間中
ヘキサン	経口摂取	雄性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 1,140 mg/kg/日	90 日
ヘキサン	吸入した場合	雄性生殖機能に有毒	ラット	LOAEL 3.52 mg/l	28 日
酸化亜鉛	経口摂取	生殖・発生毒性の区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 125 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
p-Tert-ブチルフェノール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	2 世代
p-Tert-ブチルフェノール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 70 mg/kg/日	2 世代
p-Tert-ブチルフェノール	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 200 mg/kg/日	2 世代
エチルベンゼン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4.3 mg/l	交配前および妊娠中。
キシレン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
キシレン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 非該当	器官発生期
キシレン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	妊娠期間中

## 授乳に対するまたは授乳を介した影響

名称	経路	生物種	値又は判定結果
キシレン	経口摂取	マウス	乳汁を介した影響および授乳による影響区分に該当しない。

## 標的臓器

## 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
2-メチルペンタン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
2-メチルペンタン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
2-メチルペンタン	吸入した場合	心臓感作性	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 非該当	
2-メチルペンタン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
アセトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
アセトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
アセトン	吸入した場合	免疫システム	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 1.19 mg/l	6 時間
アセトン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 非該当	
アセトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
シクロヘキサン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
シクロヘキサン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
シクロヘキサン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家	NOAEL 非該当	

				による判断	当	
3-メチルペンタン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
3-メチルペンタン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
3-メチルペンタン	吸入した場合	心臓感作性	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 非該当	
3-メチルペンタン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
メチルエチルケトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	公的な分類	NOAEL 非該当	
メチルエチルケトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
メチルエチルケトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	適用しない。
メチルエチルケトン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 1,080 mg/kg	適用しない。
酸化マグネシウム	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	
2,3-ジメチルブタン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
2,3-ジメチルブタン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
2,3-ジメチルブタン	吸入した場合	心臓感作性	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 非該当	
2,3-ジメチルブタン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
ヘキサン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	非該当
ヘキサン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ウサギ	NOAEL 非該当	8 時間
ヘキサン	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 24.6 mg/l	8 時間
p-Tert-ブチルフェノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ラット	LOAEL 5.6 mg/l	4 時間
ネオヘキサン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
ネオヘキサン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
ネオヘキサン	吸入した場合	心臓感作性	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 非該当	
ネオヘキサン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
エチルベンゼン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
エチルベンゼン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
エチルベンゼン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	

キシレン	吸入した場合	聴覚系	臓器への影響	ラット	LOAEL 6.3 mg/l	8 時間
キシレン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
キシレン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
キシレン	吸入した場合	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.5 mg/l	非該当
キシレン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
キシレン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
キシレン	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 250 mg/kg	適用しない。

### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
2-メチルペンタン	吸入した場合	末梢神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5.3 mg/l	14 週
2-メチルペンタン	経口摂取	末梢神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	8 週
2-メチルペンタン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 2,000 mg/kg	28 日
アセトン	皮膚	眼	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 非該当	3 週
アセトン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 3 mg/l	6 週
アセトン	吸入した場合	免疫システム	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 1.19 mg/l	6 日
アセトン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 119 mg/l	非該当
アセトン	吸入した場合	心臓   肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 45 mg/l	8 週
アセトン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 900 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 3,896 mg/kg/day	14 日
アセトン	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3,400 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg	13 週
アセトン	経口摂取	皮膚   骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 11,298 mg/kg/day	13 週
シクロヘキサン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 24 mg/l	90 日
シクロヘキサン	吸入した場合	聴覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.7 mg/l	90 日
シクロヘキサン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 2.7 mg/l	10 週
シクロヘキサン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 24 mg/l	14 週



	場合				mg/l	
シクロヘキサン	吸入した場合	末梢神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 8.6 mg/l	30 週
3-メチルペンタン	吸入した場合	末梢神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5.3 mg/l	14 週
3-メチルペンタン	経口摂取	末梢神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	8 週
3-メチルペンタン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 2,000 mg/kg	28 日
メチルエチルケトン	皮膚	神経系	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 非該当	31 週
メチルエチルケトン	吸入した場合	肝臓   腎臓および膀胱   心臓   内分泌系   消化管   骨、歯、爪及び/又は毛髪   造血器系   免疫システム   筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.7 mg/l	90 日
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	7 日
メチルエチルケトン	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 173 mg/kg/day	90 日
2,3-ジメチルブタン	吸入した場合	末梢神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5.3 mg/l	14 週
2,3-ジメチルブタン	経口摂取	末梢神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	8 週
2,3-ジメチルブタン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 2,000 mg/kg	28 日
ヘキサン	吸入した場合	末梢神経系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
ヘキサン	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	LOAEL 1.76 mg/l	13 週
ヘキサン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	6 月
ヘキサン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 1.76 mg/l	6 月
ヘキサン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 35.2 mg/l	13 週
ヘキサン	吸入した場合	聴覚系   免疫システム   眼	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
ヘキサン	吸入した場合	心臓   皮膚   内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.76 mg/l	6 月
ヘキサン	経口摂取	末梢神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1,140 mg/kg/day	90 日
ヘキサン	経口摂取	内分泌系   造血器系   肝臓   免疫システム   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	13 週
酸化亜鉛	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/day	10 日
酸化亜鉛	経口摂取	内分泌系   造血器系   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	その他	NOAEL 500 mg/kg/day	6 月
p-Tert-ブチルフェノール	経口摂取	内分泌系   肝臓   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/day	2 世代
p-Tert-ブチルフェノール	経口摂取	血液	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg	6 週
ネオヘキサン	吸入した場合	末梢神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5.3 mg/l	14 週
ネオヘキサン	経口摂取	末梢神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	8 週

ネオヘキサン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	当 LOAEL 2,000 mg/kg	28 日
エチルベンゼン	吸入した場合	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1.1 mg/l	2 年
エチルベンゼン	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 1.1 mg/l	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.4 mg/l	28 日
エチルベンゼン	吸入した場合	聴覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.4 mg/l	5 日
エチルベンゼン	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 3.3 mg/l	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	消化管	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.3 mg/l	2 年
エチルベンゼン	吸入した場合	骨、歯、爪及び/ 又は毛髪   筋肉	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 4.2 mg/l	90 日
エチルベンゼン	吸入した場合	心臓   免疫システム   呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.3 mg/l	2 年
エチルベンゼン	経口摂取	肝臓   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 680 mg/kg/day	6 月
キシレン	吸入した場合	神経系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.4 mg/l	4 週
キシレン	吸入した場合	聴覚系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 7.8 mg/l	5 日
キシレン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
キシレン	吸入した場合	心臓   内分泌系   消化管   造血器系   筋肉   腎臓および膀胱   呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.5 mg/l	13 週
キシレン	経口摂取	聴覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 900 mg/kg/day	2 週
キシレン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,500 mg/kg/day	90 日
キシレン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
キシレン	経口摂取	心臓   皮膚   内分泌系   骨、歯、爪及び/ 又は毛髪   造血器系   免疫システム   神経系   呼吸器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/day	103 週

## 誤えん有害性

名称	値又は判定結果
2-メチルペンタン	誤えん有害性
シクロヘキサン	誤えん有害性
3-メチルペンタン	誤えん有害性
2,3-ジメチルブタン	誤えん有害性
ヘキサン	誤えん有害性
ネオヘキサン	誤えん有害性
エチルベンゼン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

### 生態毒性

#### 水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

#### 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分2：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ポリクロロブレン	9010-98-4	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
フェノール・ホルムアルデヒド樹脂	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
スチレン化フェノール	61788-44-1	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	1.35 mg/l
スチレン化フェノール	61788-44-1	メダカ	実験	96 時間	LC50	5.6 mg/l
スチレン化フェノール	61788-44-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	4.6 mg/l
スチレン化フェノール	61788-44-1	ゼブラフィッシュ	類似コンパウンド	63 日	NOEC	0.0618 mg/l
スチレン化フェノール	61788-44-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.42 mg/l
スチレン化フェノール	61788-44-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.2 mg/l
スチレン化フェノール	61788-44-1	液状化	実験	3 時間	EC50	362 mg/l
2,3-ジメチル	79-29-8	緑藻類	類似コンパウ	72 時間	EL50	55 mg/l

ブタン			ンド			
2,3-ジメチル ブタン	79-29-8	ニジマス	類似コンパウ ンド	96 時間	LL50	12 mg/l
2,3-ジメチル ブタン	79-29-8	ミジンコ	類似コンパウ ンド	48 時間	EL50	3 mg/l
2,3-ジメチル ブタン	79-29-8	緑藻類	類似コンパウ ンド	72 時間	NOEL	30 mg/l
2-メチルペン タン	107-83-5	該当なし	分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし
3-メチルペン タン	96-14-0	該当なし	分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし
アセトン	67-64-1	藻類または他 の水生植物	実験	96 時間	EC50	11,493 mg/l
アセトン	67-64-1	無脊椎動物	実験	24 時間	LC50	2,100 mg/l
アセトン	67-64-1	ニジマス	実験	96 時間	LC50	5,540 mg/l
アセトン	67-64-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	1,000 mg/l
アセトン	67-64-1	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	1,700 mg/l
アセトン	67-64-1	シマミミズ	実験	48 時間	LC50	>100
シクロヘキサ ン	110-82-7	バクテリア	実験	24 時間	IC50	97 mg/l
シクロヘキサ ン	110-82-7	ファットヘッ ドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	4.53 mg/l
シクロヘキサ ン	110-82-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.9 mg/l
エチルベンゼ ン	100-41-4	液状化	実験	49 時間	EC50	130 mg/l
エチルベンゼ ン	100-41-4	大西洋トウゴ ロイワシ	実験	96 時間	LC50	5.1 mg/l
エチルベンゼ ン	100-41-4	緑藻類	実験	96 時間	EC50	3.6 mg/l
エチルベンゼ ン	100-41-4	アミ	実験	96 時間	LC50	2.6 mg/l
エチルベンゼ ン	100-41-4	ニジマス	実験	96 時間	LC50	4.2 mg/l
エチルベンゼ ン	100-41-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1.8 mg/l
エチルベンゼ ン	100-41-4	ミジンコ	実験	7 日	NOEC	0.96 mg/l
ヘキサン	110-54-3	ファットヘッ ドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	2.5 mg/l

ヘキサン	110-54-3	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	3.9 mg/l
酸化マグネシウム	1309-48-4	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
メチルエチルケトン	78-93-3	ファットヘッドミノウ(魚)	実験	96 時間	LC50	2,993 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	2,029 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	308 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC10	1,289 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	バクテリア	実験	16 時間	LOEC	1,150 mg/l
ネオヘキサン	75-83-2	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
p-Tert-ブチルフェノール	98-54-4	繊毛原生動物	実験	60 時間	IC50	18.4 mg/l
p-Tert-ブチルフェノール	98-54-4	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	14 mg/l
p-Tert-ブチルフェノール	98-54-4	無脊椎動物	実験	96 時間	LC50	1.9 mg/l
p-Tert-ブチルフェノール	98-54-4	メダカ	実験	96 時間	LC50	5.1 mg/l
p-Tert-ブチルフェノール	98-54-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3.9 mg/l
p-Tert-ブチルフェノール	98-54-4	ファットヘッドミノウ(魚)	実験	128 日	NOEC	0.01 mg/l
p-Tert-ブチルフェノール	98-54-4	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.32 mg/l
p-Tert-ブチルフェノール	98-54-4	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.73 mg/l
ロジン	8050-09-7	バクテリア	実験	該当なし	EC50	76.1 mg/l
ロジン	8050-09-7	緑藻類	実験	72 時間	EL50	>100 mg/l
ロジン	8050-09-7	ミジンコ	実験	48 時間	EL50	911 mg/l
ロジン	8050-09-7	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LL50	>1 mg/l
ロジン	8050-09-7	緑藻類	実験	72 時間	NOEL	100 mg/l
キシレン	1330-20-7	液状化	推定値	3 時間	NOEC	157 mg/l

キシレン	1330-20-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	4.36 mg/l
キシレン	1330-20-7	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2.6 mg/l
キシレン	1330-20-7	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	3.82 mg/l
キシレン	1330-20-7	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	0.44 mg/l
キシレン	1330-20-7	ミジンコ	推定値	7 日	NOEC	0.96 mg/l
キシレン	1330-20-7	ニジマス	実験	56 日	NOEC	>1.3 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	液状化	推定値	3 時間	EC50	6.5 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	0.052 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	0.21 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	0.07 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	0.006 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	ミジンコ	推定値	7 日	NOEC	0.02 mg/l

## 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ポリクロロブレン	9010-98-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フェノール・ホルムアルデヒド樹脂	営業秘密	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	0 CO2発生量/理論CO2発生量%	
スチレン化フェノール	61788-44-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	7 %BOD/ThOD	OECD 301F
スチレン化フェノール	61788-44-1	類似コンパウンド 生分解性		半減期 (t 1/2)	34.9 日 (t 1/2)	
スチレン化フェノール	61788-44-1	類似コンパウンド 好気性土壌代謝		半減期 (t 1/2)	12.5 日 (t 1/2)	
2,3-ジメチルブタン	79-29-8	類似コンパウンド 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	98 %BOD/ThOD	OECD 301F
2,3-ジメチルブタン	79-29-8	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	5.1 日 (t 1/2)	
2-メチルペンタン	107-83-5	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	93 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
2-メチルペンタン	107-83-5	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	6.1 日 (t 1/2)	
3-メチルペンタン	96-14-0	類似コンパウンド 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	93 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
3-メチルペンタン	96-14-0	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	6.1 日 (t 1/2)	
アセトン	67-64-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	78 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
アセトン	67-64-1	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	147 日 (t 1/2)	
シクロヘキサ	110-82-7	実験 生分解	28 日	生物学的酸素	77 %BOD/ThOD	OECD 301F

ン		性		要求量		
シクロヘキサ ン	110-82-7	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	4.1 日 (t 1/2)	
エチルベンゼ ン	100-41-4	実験 生分解 性	28 日	二酸化炭素の 発生	70-80 CO2発 生量/理論CO2 発生量%	ISO 14593 生分解性 試験法 (ヘッドスペ ースCO2試験)
エチルベンゼ ン	100-41-4	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	4.26 日 (t 1/2)	
ヘキサン	110-54-3	実験 生態濃 縮	28 日	生物学的酸素 要求量	100 %BOD/Tho D	OECD 301C-MITI(1)
ヘキサン	110-54-3	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	5.4 日 (t 1/2)	
酸化マグネシ ウム	1309-48-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
メチルエチル ケトン	78-93-3	実験 生分解 性	28 日	生物学的酸素 要求量	98 %BOD/ThOD	OECD 301D - クロー ズドボトル法
ネオヘキサン	75-83-2	モデル 生分 解性	28	生物学的酸素 要求量	33 %BOD/ThOD	Catalogic™
ネオヘキサン	75-83-2	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	14.2 日 (t 1/2)	
p-Tert-ブチ ルフェノール	98-54-4	実験 生分解 性	28 日	DOC (溶存有 機炭素) 残留 量	98 DOC除去%	EC C.4.A. DOC Die- Away試験
ロジン	8050-09-7	実験 生分解 性	28 日	二酸化炭素の 発生	64 CO2発生量 /理論CO2発生 量%	OECD 301B - 修正シ ュツルム試験又は二 酸化炭素
キシレン	1330-20-7	実験 生分解 性	28 日	生物学的酸素 要求量	90- 98 %BOD/ThOD	OECD 301F
キシレン	1330-20-7	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	1.4 日 (t 1/2)	
酸化亜鉛	1314-13-2	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

## 生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ポリクロプロ レン	9010-98-4	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フェノール・ ホルムアルデ ヒド樹脂	営業秘密	推定値 生態 濃縮		生物濃縮係数	7.4	
スチレン化フ ェノール	61788-44-1	実験 BCF - 魚	10 日	生物濃縮係数	10395	
スチレン化フ ェノール	61788-44-1	実験 生態濃 縮		オクタノール /水 分配係 数	>4	

2,3-ジメチルブタン	79-29-8	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	35	Catalogic™
2,3-ジメチルブタン	79-29-8	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.42	
2-メチルペンタン	107-83-5	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	47	Catalogic™
2-メチルペンタン	107-83-5	モデル 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.21	EPI suite™
3-メチルペンタン	96-14-0	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	81	Catalogic™
3-メチルペンタン	96-14-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.6	
アセトン	67-64-1	実験 BCF-その他		生物濃縮係数	0.65	
アセトン	67-64-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.24	
シクロヘキサン	110-82-7	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	129	OECD305-生体濃縮度試験
シクロヘキサン	110-82-7	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.44	
エチルベンゼン	100-41-4	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	1	
ヘキサン	110-54-3	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	50	Catalogic™
酸化マグネシウム	1309-48-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
メチルエチルケトン	78-93-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.3	OECD 117、log Kow (オクタノール/水分配係数)、高速液体クロマトグラフィー
ネオヘキサン	75-83-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.82	
p-Tert-ブチルフェノール	98-54-4	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	88	OECD305-生体濃縮度試験
p-Tert-ブチルフェノール	98-54-4	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3	OECD 117、log Kow (オクタノール/水分配係数)、高速液体クロマトグラフィー
ロジン	8050-09-7	類似コンパウ	20 日	生物濃縮係数	129	



		ンド BCF - 魚				
キシレン	1330-20-7	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	25.9	
酸化亜鉛	1314-13-2	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	≤217	OECD305-生体濃縮度 試験

**土壌中の移動性**

データはない。

**オゾン層への有害性**

データはない。

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

**14. 輸送上の注意**

国連番号及び品名： 1133 接着剤

輸送分類 (IMO)：3 引火性液体

輸送分類 (IATA)：3 引火性液体

容器等級：II

**国内規制がある場合の規制情報**

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

**15. 適用法令****国内法規制及び関連情報****日本国内法規制 (主な適用法令)**

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物 (法第 57 条の 3)

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質 (安衛則第594条の2第1項)；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質 (表示物質)

労働安全衛生法：施行令別表第 6 の 2 有機溶剤

化管法：第 1 種指定化学物質

消防法：第四類第一石油類

船舶安全法、航空法：引火性液体類

労働安全衛生法：施行令別表第一 危険物

労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達 基準第 182 号の 2

海洋汚染防止法：環境有害物質

## 主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
2,3-ジメチルブタン	ヘキサン	該当	該当	該当
2-メチルペンタン	ヘキサン	該当	該当	該当
3-メチルペンタン	ヘキサン	該当	該当	該当
アセトン	アセトン	該当	該当	該当
シクロヘキサン	シクロヘキサン	該当	該当	該当
エチルベンゼン	エチルベンゼン	該当	該当	該当
ヘキサン	ヘキサン	該当	該当	該当
ヘキサン	ノルマル-ヘキサン	該当	該当	該当
酸化マグネシウム	酸化マグネシウム	適用しない	適用しない	該当
メチルエチルケトン	メチルエチルケトン	該当	該当	該当
ネオヘキサン	ヘキサン	該当	該当	該当
p-Tert-ブチルフェノール	4-tert-ブチルフェノール	適用しない	該当	該当
ロジン	ロジン	該当	該当	該当
キシレン	キシレン	該当	該当	該当
酸化亜鉛	酸化亜鉛	該当	該当	該当

## 化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
シクロヘキサン	シクロヘキサン	629	第1種指定化学物質
ヘキサン	ヘキサン	392	第1種指定化学物質

## 16. その他の情報

## 改訂情報

セクション15：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」情報の追加.

セクション15：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」情報の追加.

セクション3：成分表 情報修正.

セクション8：作業環境許容値 情報修正.

セクション9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報の削除.

セクション9：引火性情報 情報の追加.

セクション9：動粘度情報 情報の追加。  
セクション9：色 情報修正。  
セクション9：粒子特性 適用しない 情報の追加。  
セクション9：粘度 情報の削除。  
セクション12：成分生態毒性情報 情報修正。  
セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正。  
セクション12：生態濃縮性情報 情報修正。  
セクション15：労働安全衛生法の表 情報修正。  
セクション15：適用法規のステートメント 情報修正。

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

**3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。**